

京都市 21 世紀産業振興ビジョン策定委員会

第 2 回会議（概要）

日 時	平成 13 年 9 月 18 日(火)午後 4 時から 6 時まで
場 所	(財)京都高度技術研究所 10 階プレゼンテーションルーム
出 席 者	吉田和男委員長，宗田好史副委員長，筋祥子委員，柿野欽吾委員， 佐々木佳代委員，堀場雅夫委員，吉田忠嗣委員，高木壽一委員，西口光博委員
次 第	開会 ビジョンの視点等について ○ 事務局から資料説明 ・ 京都市の産業観光行政の体系 ・ 京都市 21 世紀産業振興ビジョンの視点について 意見交換（主な意見） ・ 創業支援だけでなく，第二創業への支援が京都のものづくり産業の活性化につながる。 ・ 経営者には，時代のニーズに合ったものづくりを，パイオニア精神でリスクを負いながら開拓していく姿勢が必要。 ・ ベンチャー企業への資金援助ができる仕組みづくりが必要 ・ 京都ドリーム宣言といった，京都において創業しやすい環境をつくっていくことが大切。 ・ 伝統産業から新産業が生まれてきた「ものづくり都市・京都」をいかに維持するかが重要。 ・ 社会的要請に応え，ＩＴルネサンス，エコルネサンスなどを展開すべき。 ・ 企業の攻めの姿勢に効くものは何かを洗い出し，そこを徹底的に政策のターゲットとすべき。 ・ 環境調和型社会，長寿社会にどう対応するのかという観点で，京都の持つ技術や中小企業が培ってきたものづくりの技術を総動員すべき。 ・ 元気な高齢者に働く場を提供することが必要 ・ 新しい都市型産業のあり方として，生活密着型，生活安全型産業という視点が必要。 ・ 勝てない産業分野でなく，注目されていない産業分野でもオンリーワン，ナンバーワンを目指すべき。 ・ 他都市をまねるのではなく，京都独自のものを提案する必要がある。